

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

－ 結果の概要 －

令和元年9月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の内容	1
	(1) 教科に関する調査	
	(2) 質問紙調査	
4	調査の方式	1
5	調査日	1
6	調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数	1
	[本書における留意事項]	2

II 調査の結果

1	教科に関する調査の結果	3
	(1) 各教科の状況	4
	《小学校第6学年 国語》	
	《小学校第6学年 算数》	
	《中学校第3学年 国語》	
	《中学校第3学年 数学》	
	《中学校第3学年 英語》	
	(2) 学校の分布状況	2 4
	(3) 各教育事務所の状況	2 6
	(4) 平均正答率の全国との差の変動	3 0
2	質問紙調査の結果	3 2
	(1) 児童生徒質問紙調査	3 2
	(2) 学校質問紙調査	3 9

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

国語 算数・数学 英語	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容 ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問う
-------------------	---

(2) 質問紙調査

児童生徒質問紙	学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査
学校質問紙	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査日 平成31年4月18日（木）

6 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数（義務教育学校，特別支援学校を含む）

区分	小学校第6学年	中学校第3学年
学校数	203校	85校
児童生徒数	9,843人	9,284人

[本書における留意事項]

1 語句について

語 句	説 明
平均正答数	児童生徒の正答数の平均
平均正答率	平均正答数を百分率で表示
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値

2 到達状況の表記について

○平均正答率の比較については、国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上（以下）は上回る（下回る）、 $\pm 2\%$ 以上（以下）～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る（やや下回る）、 $\pm 2\%$ 未満は同程度と表記した。

○国が公表した過去の調査結果を参考にして、正答率の状況により、児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

3 調査結果の解釈等について

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が小学校調査では国語，算数の2教科，中学校調査では国語，数学，英語の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。したがって、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、国語，算数・数学，英語（中学校）の教科ごとの、平均正答率等の数値を示しているが、これらと分布の状況を表すグラフの形状など、他の情報とを合わせて総合的に結果を分析・評価する必要がある。

また、本調査結果の活用については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要である。

4 調査結果の算出方法について

平成29年度から文部科学省は、全国の平均正答率を小数第一位までの小数値、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料における調査結果については、文部科学省から公表された数値を使用している。ただし、Ⅱ1(3)「各教育事務所の状況」及びⅡ1(4)「平均正答率の全国との差の変動」の資料作成に当たっては、文部科学省から公表された全国の平均正答率を小数第一位で四捨五入した整数値とし、本県の整数値の平均正答率と比較する本県独自の算出を行っている。そのため、精緻な数値での状況と異なる場合もある。

Ⅱ 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

本県の平均正答率は、これまでの調査と同様に、小中学校の国語、算数・数学、英語ともに全国より高い。

学年	項目	県・国	国語	算数・数学	英語
小学校 第6学年	問数		14	14	
	平均正答率 (%)	本県	72	72	
		全国	63.8	66.6	
中学校 第3学年	問数		10	16	21
	平均正答率 (%)	本県	77	65	58
		全国	72.8	59.8	56.0

※ 平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

※ 平成31年度(令和元年度)より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。

※ 文部科学省は、中学校英語について、4技能のうち「話すこと」を除く、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計し公表している。

《参考》

[平成30年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
小学校 第6学年	本県	76	61	68	59	66
	全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
中学校 第3学年	本県	79	65	71	52	71
	全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

[平成29年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校 第6学年	本県	79	64	85	53
	全国	74.8	57.5	78.6	45.9

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校 第3学年	本県	82	77	69	53
	全国	77.4	72.2	64.6	48.1

[平成28年度の結果]

学年	県・国	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校 第6学年	本県	78.6	63.0	82.4	53.5
	全国	72.9	57.8	77.6	47.2

学年	県・国	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校 第3学年	本県	78.1	70.8	65.6	48.8
	全国	75.6	66.5	62.2	44.1

(1)各教科の状況

《小学校第6学年 国語》

国語

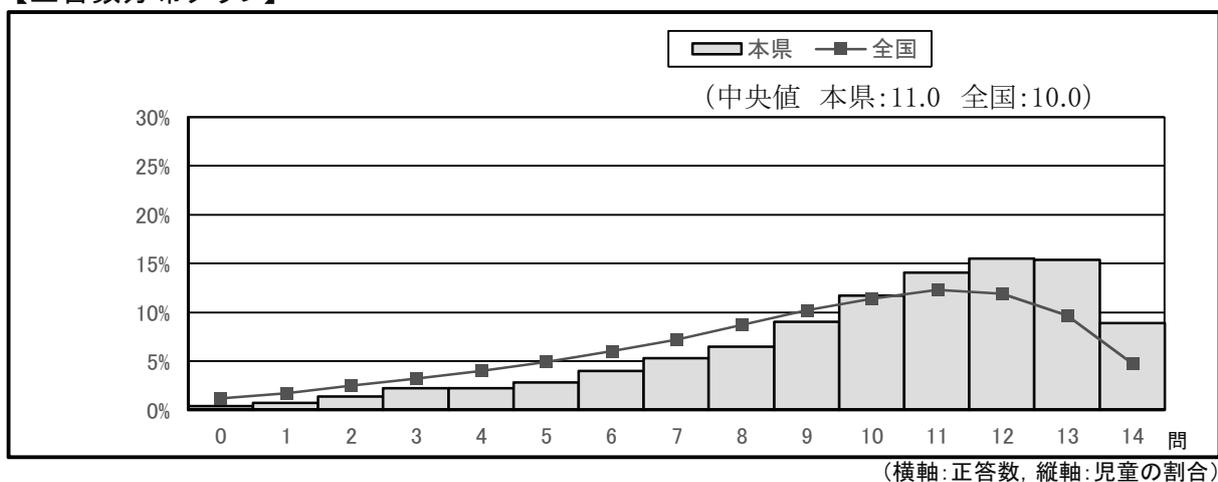
☆ 平均正答率は全国平均を上回り、基準に到達している。

☆ 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことは、良好である。

☆ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由をまとめて書くことに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.1 / 14 問	72 %	3.1
全国	8.9 / 14 問	63.8 %	3.4

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	93.6	88.5
2 3一	豊職人への【インタビューの様子】の「ア」に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	86.8	81.3
3 2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る、 <u>疑問に思ったこと</u> の①に対する答えとして適切なものを選択する	84.4	80.7

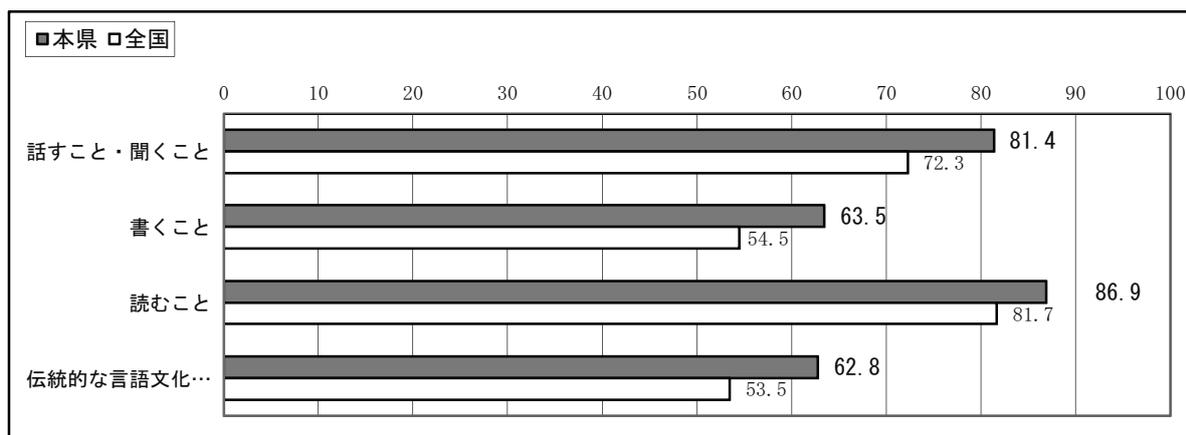
【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	40.1	28.8
2 1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	41.6	35.6
3 1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	52.2	41.9

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▼:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【話すこと・聞くこと】

- : 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること〔3一〕
- : 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること〔3三〕
- ◇ : 目的に応じて、質問を工夫すること〔3二〕

【書くこと】

- ◇ : 図表やグラフなどを用いた目的を捉えること〔1一〕
- ◇ : 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えること〔1二〕
- ▼ : 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと〔1三〕

【読むこと】

- ◎ : 目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと〔2二〕
- : 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確しながら読むこと〔2一(1)・(2)〕

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- : ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いること〔3四〕
- ▼ : 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと〔1四(1)ア・ウ〕
- ▼ : 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと〔1四(2)〕

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で(資料2)と(資料3)をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する		○								76.1	0.1	71.2	0.5
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する		○								74.2	1.9	63.4	5.9
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く		○			○					40.1	2.3	28.8	3.8
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)				○				○		52.2	5.0	41.9	8.2
1四(1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部イを、漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)				○				○		80.2	5.8	69.4	12.1
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)				○				○		41.6	3.2	35.6	4.9
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の:.....:の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す				○				○		58.7	7.2	47.8	11.3
2一(1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「ア」に入る、[疑問に思ったこと]の①に対する答えとして適切なものを選択する			○							84.4	0.4	80.7	1.4
2一(2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の「イ」に、[疑問に思ったこと]の②に対する答えになるように考えて書く			○		○			○		82.8	3.0	75.9	5.0

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する			○							93.6	1.1	88.5	4.2
3一	豊職人への【インタビューの様子】の【ア】に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	○					○				86.8	0.8	81.3	3.4
3二	豊職人への【インタビューの様子】の【イ】の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	○					○				75.9	1.1	67.4	4.2
3三	【インタビューの様子】の【イ】に、豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	○				○	○				81.5	7.3	68.2	14.2
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の【ウ】に入る適切なものを選択する(習うより慣れよ)			○					○		81.2	2.7	73.0	7.9

(1)各教科の状況

《小学校第6学年 算数》

算数

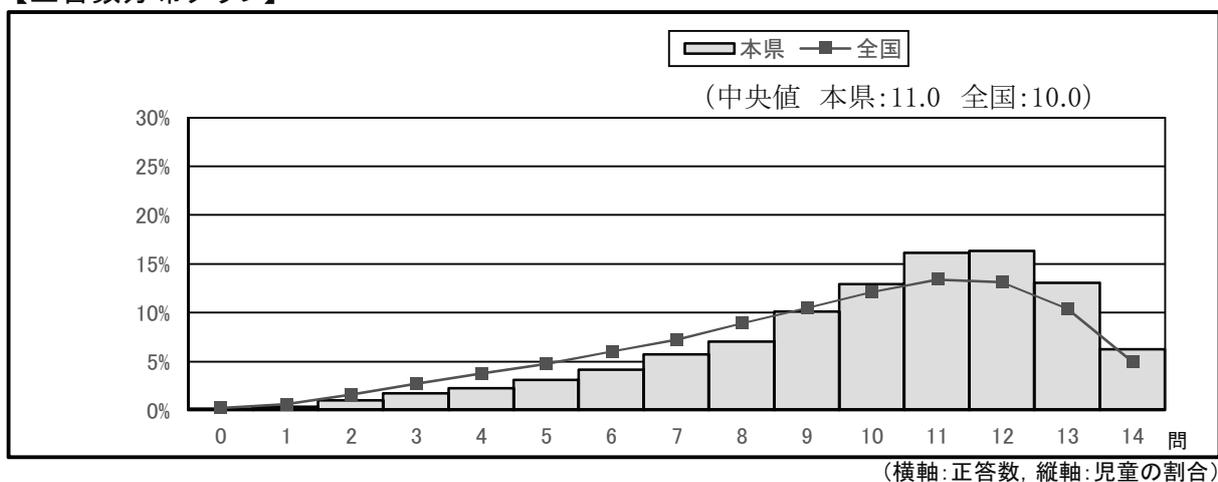
☆ 平均正答率は全国平均を上回り、基準に達している。

☆ 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることについては良好である。

☆ 示された計算の仕方を解釈し、別の計算に適用して成り立つ性質を記述することや示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.0 / 14 問	72 %	2.8
全国	9.3 / 14 問	66.6 %	3.1

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	2(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	95.6	95.2
2	1(1) 長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ	93.6	93.1
3	4(1) だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	85.3	82.7

【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1	3(2) 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く	36.6	31.1
2	1(3) 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	44.8	43.9
3	3(4) $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	46.5	47.0

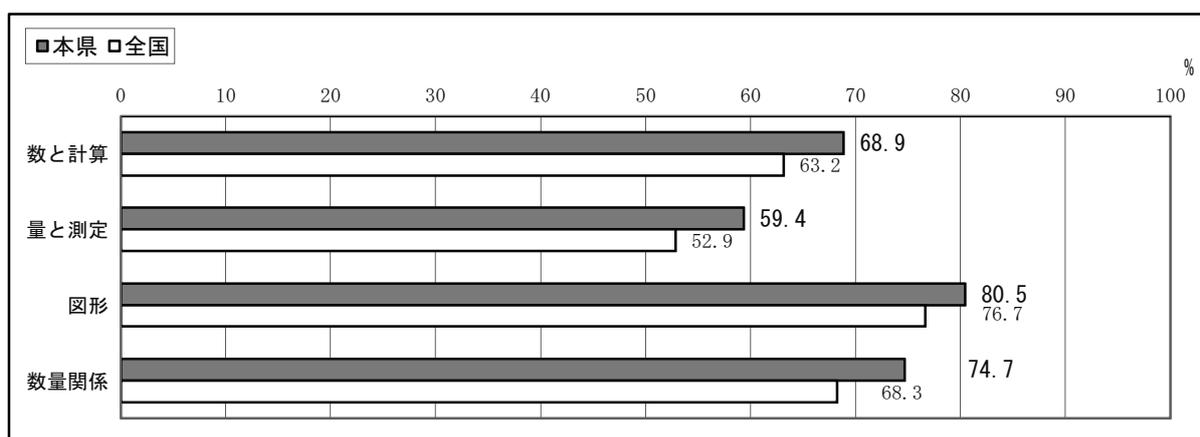
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

	設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	3(4)	1800÷6は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	46.5	47.0	-0.5

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と計算】

- ◇ : 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること[2(4)]
- ▼ : 示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述すること[3(2)]

【量と測定】

- ▽ : 資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること[2(3)]
- ▼ : 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述すること[1(3)]

【図形】

- ◎ : 台形について理解すること[1(1)]
- ▽ : 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成すること[1(2)]

【数量関係】

- ◎ : 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること[2(1)]
- ◇ : 場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断すること[4(3)]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

算数

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等			評価の観点				本県		全国	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形に関する知識・理解の技能	数量や図形に関する知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ			○				○	93.6	0.1	93.1	0.1
1(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくり出すことができる形を選ぶ			○			○		67.4	0.4	60.3	0.6
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く		○				○		44.8	4.2	43.9	6.7
2(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ				○		○		95.6	0.1	95.2	0.2
2(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	○			○		○		85.0	0.4	78.6	1.0
2(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く		○		○		○		60.9	1.2	52.1	2.0
2(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	○			○		○		77.3	0.6	60.1	1.0
3(1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	○					○		83.6	0.6	81.8	0.9
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く	○					○		36.6	6.6	31.1	10.8
3(3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	○					○		80.3	1.3	74.9	2.1
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	○			○		○		46.5	1.1	47.0	2.2

【各設問の正答率等】

算数

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等			評価の観点					本県		全国	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形に関する技能	数量や図形に関する知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
4(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ				○		○			85.3	0.9	82.7	1.7
4(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く	○					○			72.9	2.6	68.6	4.4
4(3)	残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する		○		○		○			72.5	2.0	62.6	3.5

(1)各教科の状況

《中学校第3学年 国語》

国語

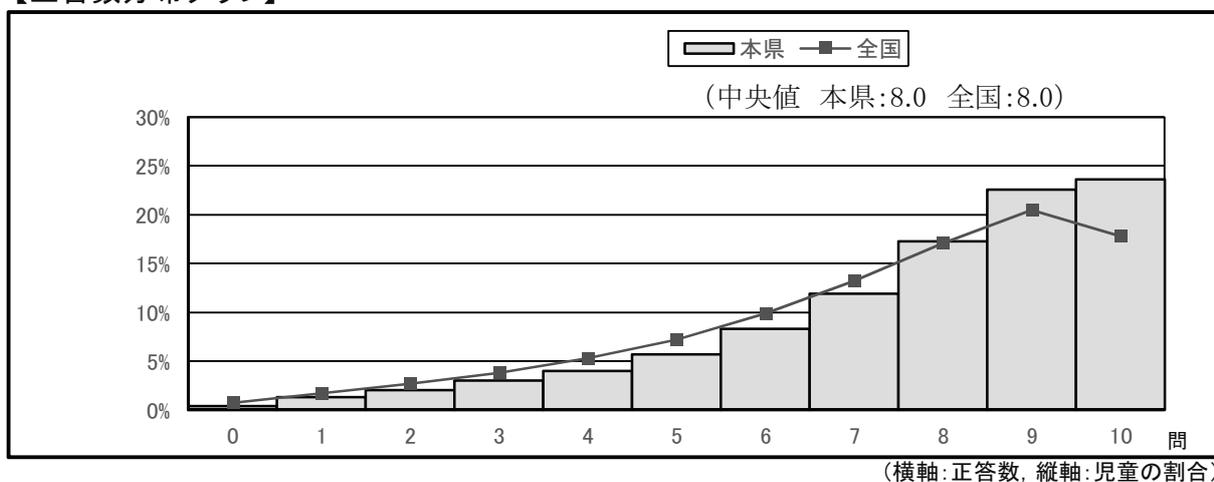
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、基準に到達している。

☆ 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことは良好である。

☆ 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことや、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	7.7 / 10 問	77 %	2.3
全国	7.3 / 10 問	72.8 %	2.4

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	93.0	91.2
2 3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	89.0	87.4
3 2一	話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	84.7	80.4

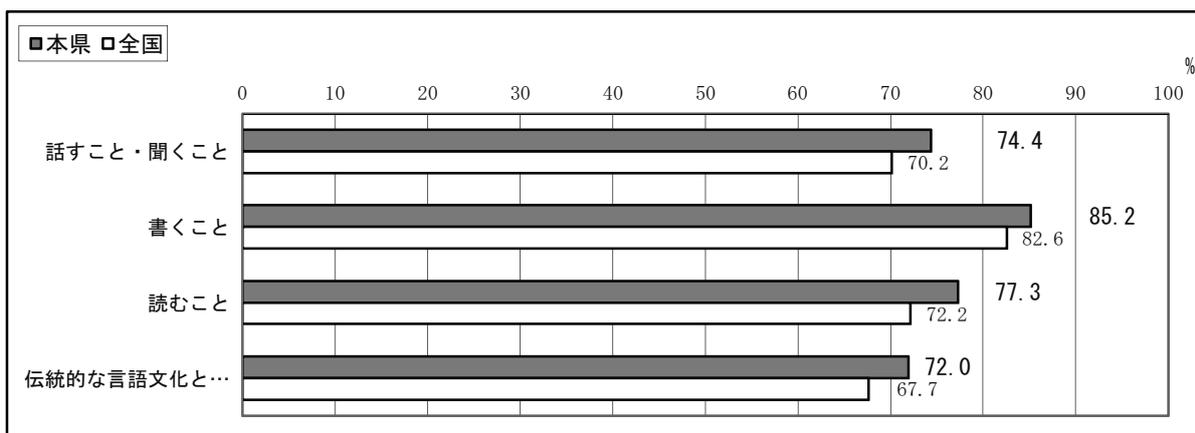
【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	61.4	56.8
2 2三	話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く	64.1	60.4
3 1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	67.1	61.5

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【話すこと・聞くこと】

- : 話合いの話題や方向を捉えること〔2一〕
- ▽ : 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと〔2三〕

【書くこと】

- : 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること〔3一〕
- : 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと〔3二〕

【読むこと】

- ◎ : 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと〔1三〕
- ▽ : 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること〔1二〕

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ▽ : 封筒の書き方を理解して書くこと〔1四〕

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

国語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国		
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	言語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する			○					○		71.7	0.1	63.9	0.1
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する			○					○		67.1	0.1	61.5	0.1
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く			○		○			○		93.0	1.3	91.2	1.7
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く				○					○	61.4	4.2	56.8	5.6
2一	話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	○							○		84.7	0.1	80.4	0.2
2二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	○							○		74.5	0.1	69.7	0.3
2三	話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く	○				○	○				64.1	6.9	60.4	8.9
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する		○							○	89.0	0.2	87.4	0.4
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える		○			○				○	81.4	7.1	77.8	7.9
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する				○					○	82.5	0.9	78.7	1.2

(1)各教科の状況

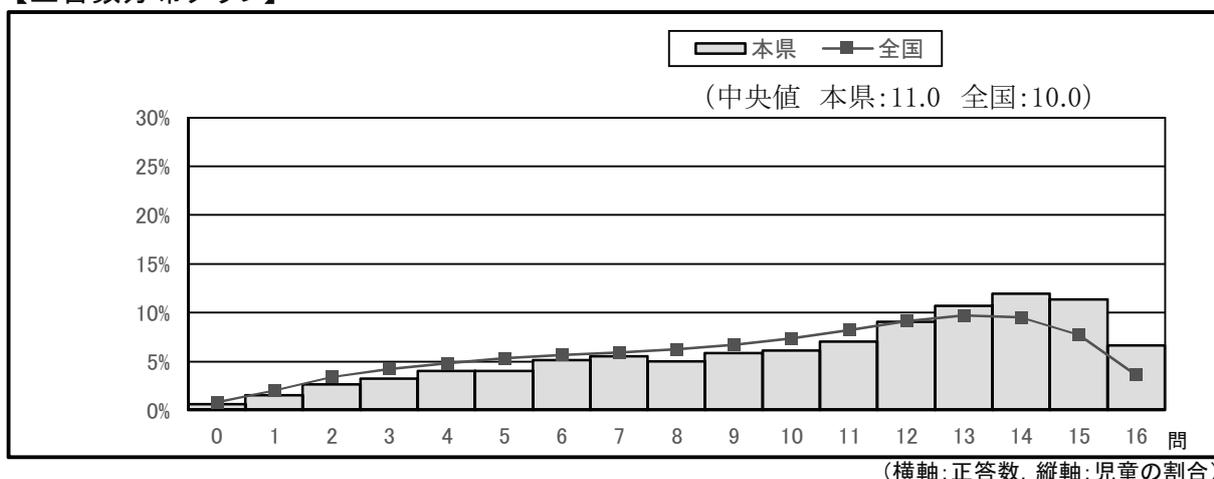
《中学校第3学年 数学》

数学

- ☆ 平均正答率は全国平均を上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 図形領域において、平行移動や合同条件、反例の意味を理解することについて、良好である。
- ☆ 事象や傾向を的確に捉え、問題解決の方法や判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.4 / 16 問	65 %	4.2
全国	9.6 / 16 問	59.8 %	4.2

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 3	△ABCを、矢印の方向に△DEFまで平行移動したとき、移動の距離を求める	87.0	83.6
2 7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	80.7	77.2
3 7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	78.1	75.8

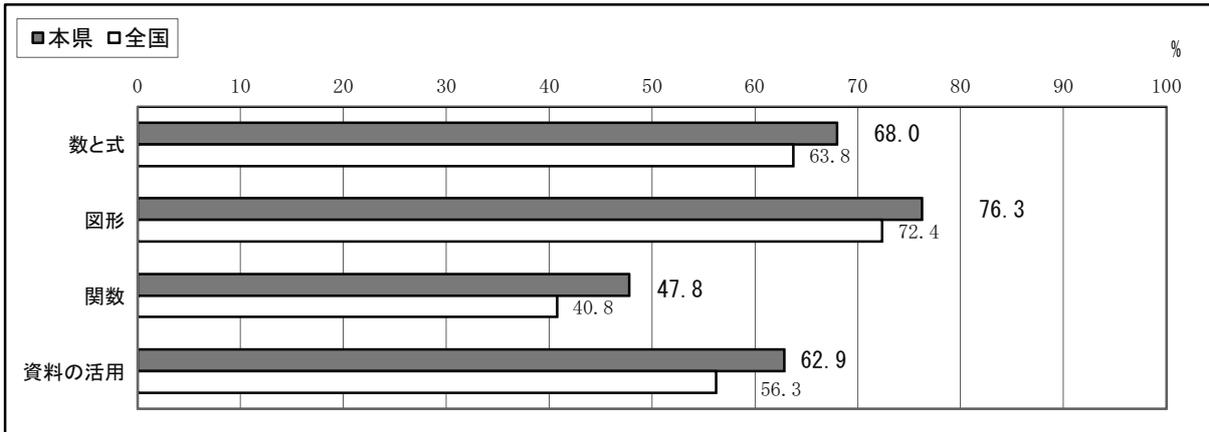
【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ	42.8	38.8
2 6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	44.1	34.7
3 8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	51.6	40.8

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【数と式】

- ◇ : 簡単な連立二元一次方程式を解くこと[2]
- ▽ : 数の集合と四則計算の可能性について理解すること[1]

【図形】

- : 平行移動の意味を理解していること[3]
- ▼ : 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明すること[7(3)]

【関数】

- ▼ : 反比例の表から、 x と y の関係を式で表すこと[4]
- ▼ : グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈すること[6(1)]

【資料の活用】

- ◇ : 簡単な場合について、確率を求めること[5]
- ▼ : 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること[8(2)]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

数学

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	態度	数学的な見方や考え	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	aとbが正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	○						○	69.1	0.1	62.2	0.2	
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	○					○	72.4	5.0	70.1	5.1		
3	△ABCを、矢印の方向に△DEFまで平行移動したとき、移動の距離を求める		○					○	87.0	0.5	83.6	0.7	
4	反比例の表から式を求める			○				○	56.5	8.4	48.9	10.4	
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める				○			○	75.2	2.6	72.8	3.3	
6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ			○				○	42.8	0.2	38.8	0.3	
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する			○				○	44.1	8.9	34.7	11.6	
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く		○					○	78.1	4.5	75.8	5.2	
7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ		○					○	80.7	0.4	77.2	0.5	
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、AF=CEになるかを説明する		○					○	59.3	14.8	53.3	17.6	
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める				○			○	63.8	7.5	57.9	10.6	
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切でない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する				○			○	51.6	16.3	40.8	21.3	

【各設問の正答率等】

数学

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国	
		数と式	図形	関数	資料の活用	態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ				○		○			60.9	0.8	53.6	1.0
9(1)	説明を読み, $6n+9$ を $3(2n+3)$ に変形する理由を完成する	○					○			62.3	7.6	57.4	9.5
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	○					○			63.4	16.4	59.7	17.8
9(3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n+4)$ で表されたとき, $2n+4$ はどんな数であるかを選ぶ	○					○			72.9	1.6	69.6	1.9

(1)各教科の状況

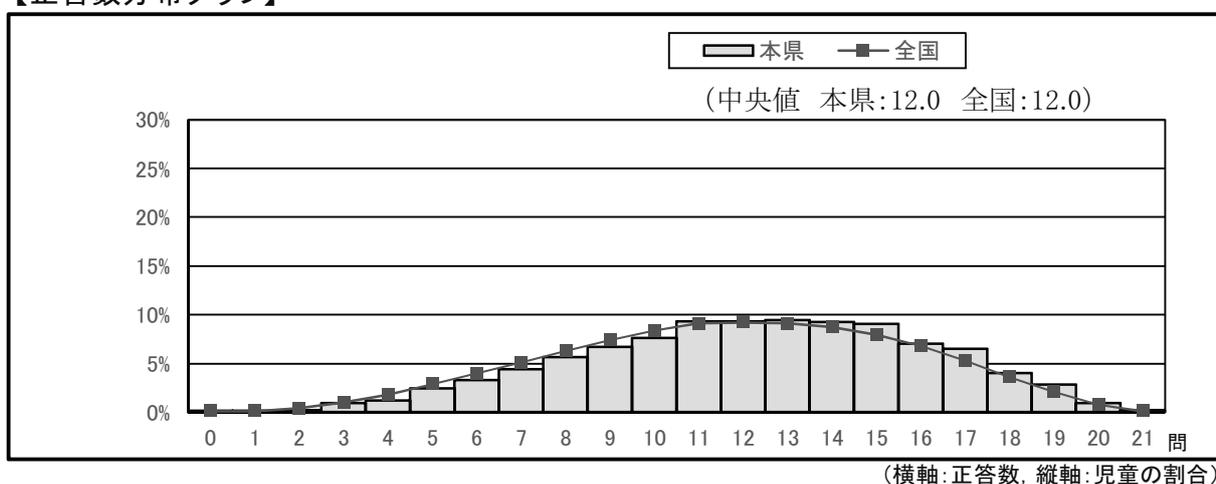
《中学校第3学年 英語》

英語

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、不十分である。
- ☆ 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ったり、読み取ったりすることや、まとまりのある英語を聞いて話の概要や必要な情報を理解することについては基準に到達している。
- ☆ 聞いたり読んだりした後に自分の考えや意見を示すことができるよう、話し手や書き手の意図を捉えることに課題がある。
- ☆ 基本的な語や文法事項等の知識の定着やそれらを活用して、自分の考えを相手に伝わる英語で表現することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	12.2 / 21 問	58 %	3.9
全国	11.8 / 21 問	56.0 %	3.9

【正答数分布グラフ】



【正答率の高い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 1(1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	91.6	91.1
2 1(2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	90.5	88.6
3 5(1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	85.5	79.4

【正答率の低い設問】

設問番号	設問の概要	本県	全国
1 10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	2.3	1.8
2 4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	10.3	7.6
3 8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	13.0	10.9

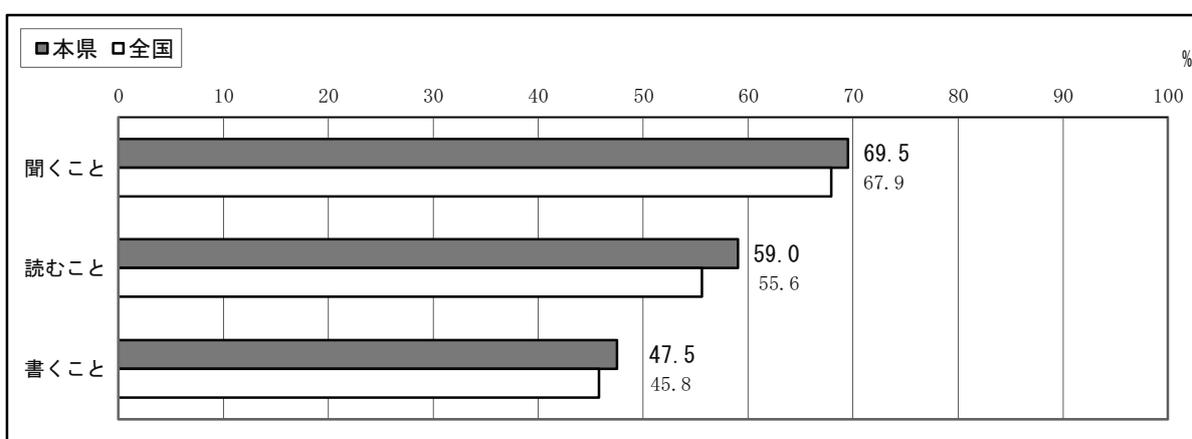
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い設問】

	設問番号	設問の概要	本県	全国	差
1	1(4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	59.6	61.8	-2.2
2	9(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	56.3	58.2	-1.9
3	9(2)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	27.1	28.9	-1.8

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【聞くこと】

- : まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解すること[3]
- ▼ : 聞いて把握した内容について、適切に応じること[4]

【読むこと】

- ▽ : まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解すること[6]
- ▼ : 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえること[8]

【書くこと】

- ▼ : 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文と否定文を正確に書くこと[9(3)②③]
- ▼ : 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと[10]

[]内:設問番号

【各設問の正答率等】

英語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国	
		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	関心・意欲・態度	コミュニケーションへの能力	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1(1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	○							○	91.6	0.1	91.1	0.2
1(2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	○							○	90.5	0.1	88.6	0.1
1(3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	○							○	74.3	0.2	72.3	0.2
1(4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	○							○	59.6	0.2	61.8	0.2
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える	○						○		77.4	0.1	71.8	0.2
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	○						○		82.4	0.1	82.0	0.2
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	○						○		10.3	31.9	7.6	42.3
5(1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する			○					○	85.5	0.1	79.4	0.2
5(2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する			○					○	75.2	0.1	74.4	0.2
5(3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する			○					○	77.4	0.2	73.1	0.4
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する			○					○	69.2	0.2	62.9	0.4
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する			○					○	33.9	0.7	32.8	1.0

【各設問の正答率等】

英語

■: 正答率が全国より高い

□: 正答率が全国より低い

設問番号	設問の概要	領域等				評価の観点				本県		全国	
		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く			○			○		13.0	22.2	10.9	27.9	
9(1)①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する			○			○	82.4	0.2	79.9	0.3		
9(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する			○			○	56.3	0.5	58.2	0.5		
9(2)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く			○			○	76.1	3.4	73.6	4.4		
9(2)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く			○			○	27.1	9.6	28.9	12.6		
9(3)①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く			○			○	57.3	4.9	53.5	6.4		
9(3)②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く			○			○	38.7	6.6	32.9	9.3		
9(3)③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く			○			○	39.6	8.1	37.4	10.5		
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く			○		○		2.3	7.1	1.8	8.3		

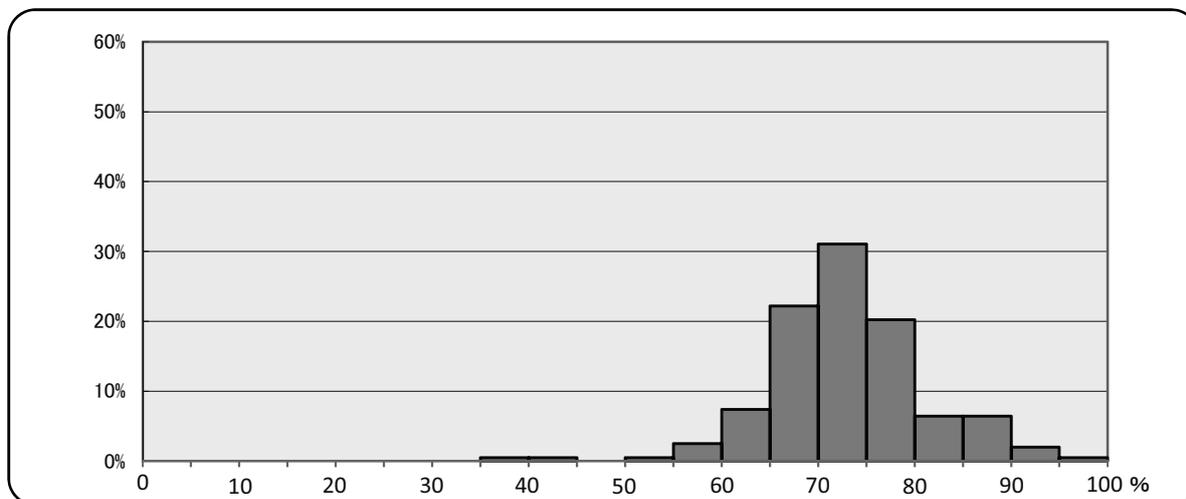
(2) 学校の分布状況

《公立小学校第6学年》

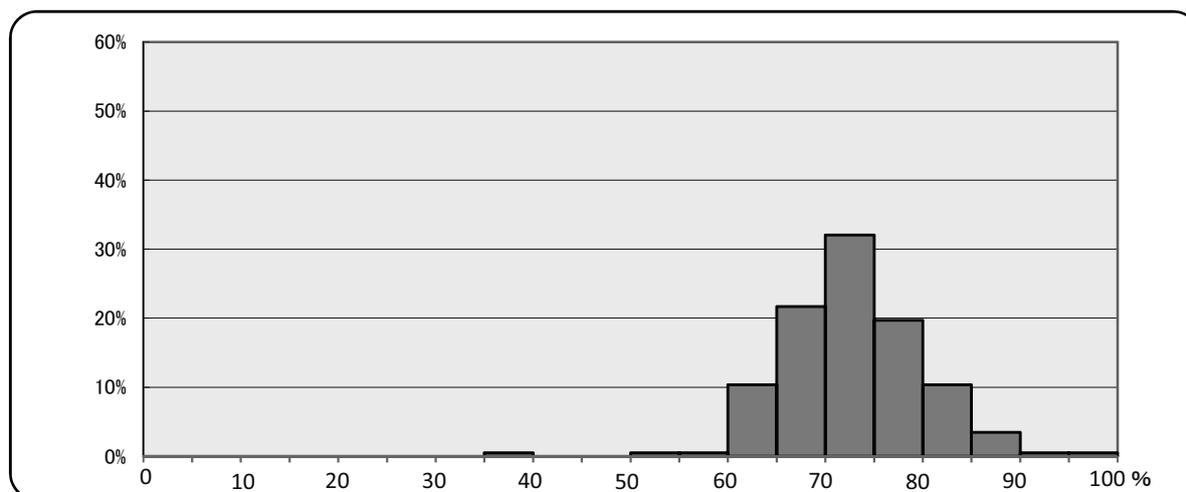
学校数

203校

国語



算数

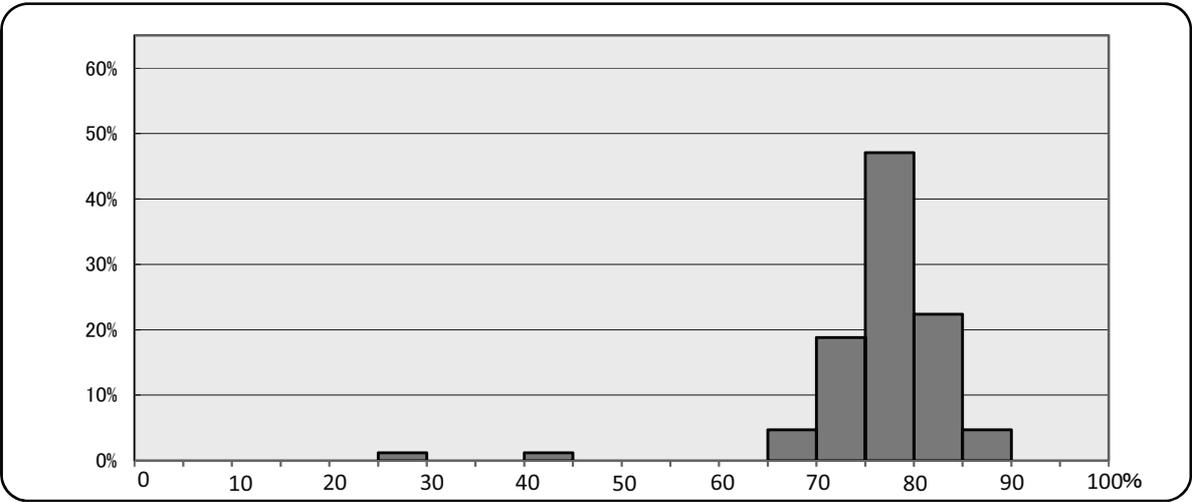


(横軸:学校の平均正答率 縦軸:学校数の割合)

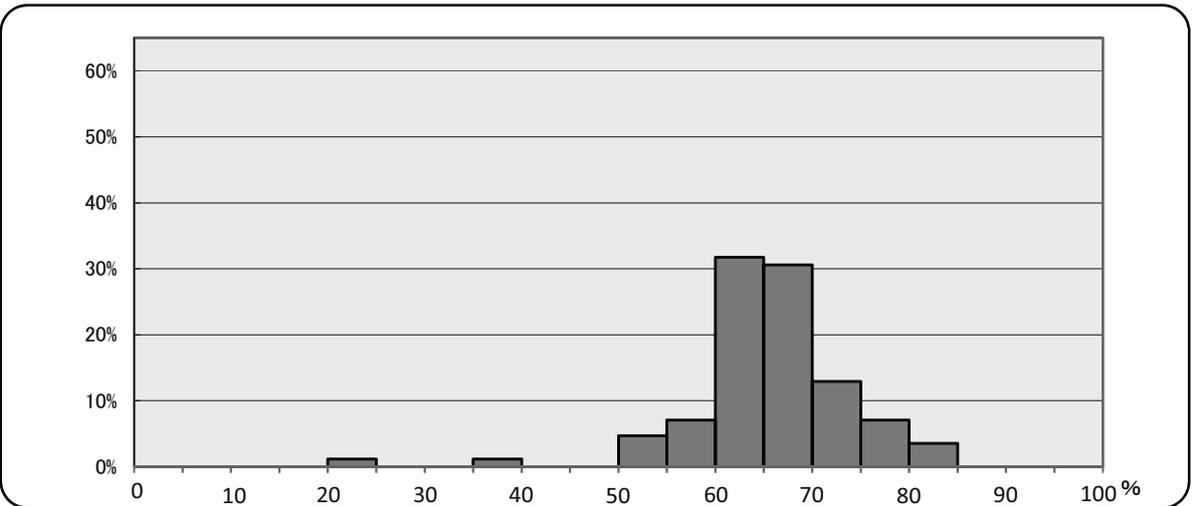
《公立中学校第3学年》

学校数	85校
-----	-----

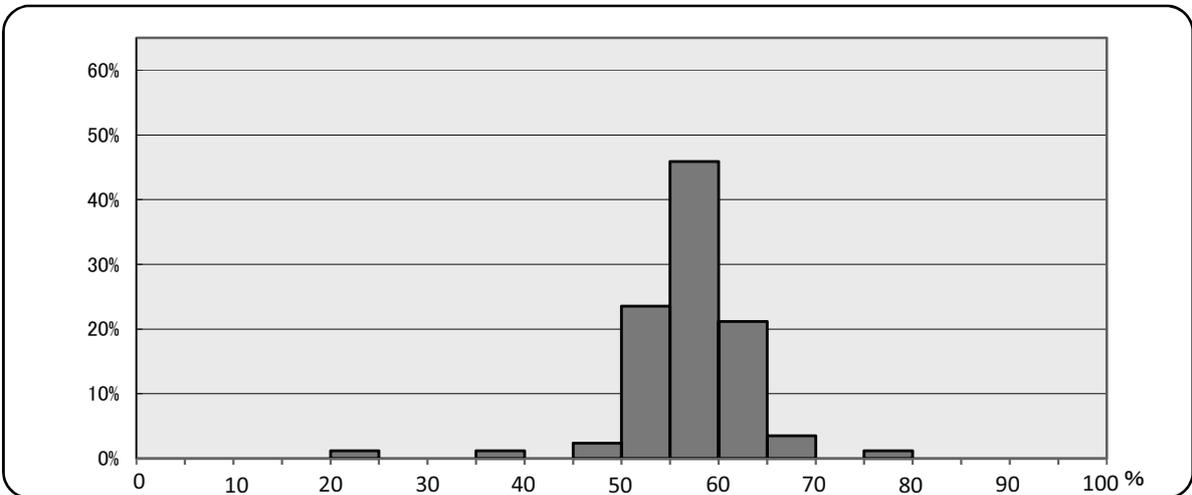
国語



数学



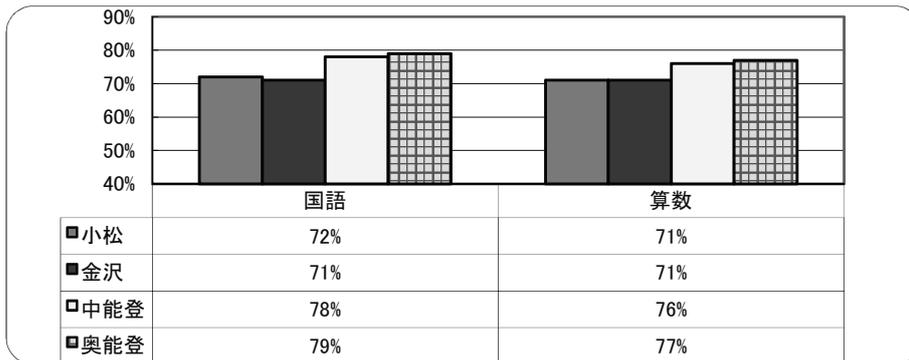
英語



(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

(3) 各教育事務所の状況

〔小学校〕



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
小松市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。
能美市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
川北町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
野々市市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
金沢市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率を下回る。 算数は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。
内灘町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
かほく市	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。

【中能登教育事務所管内】

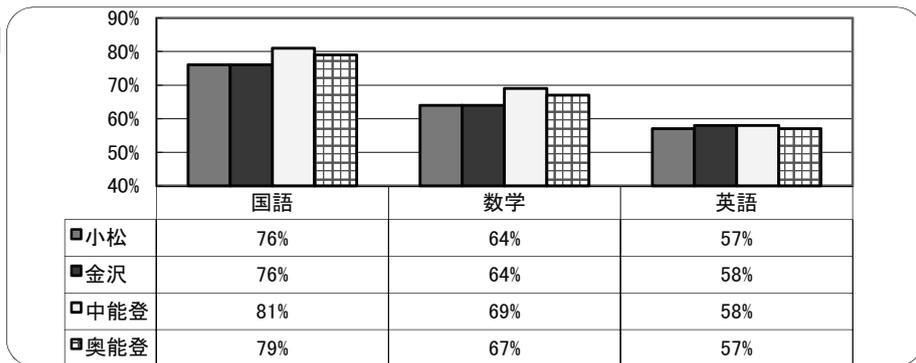
宝達志水町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
志賀町	国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 算数は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
羽咋市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
中能登町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。
七尾市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

【奥能登教育事務所管内】

能登町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
穴水町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。
輪島市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。
珠洲市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 算数は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。

※ 表記の仕方：国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上(以下)は上回る(下回る)、 $\pm 2\%$ 以上(以下)～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る(やや下回る)、 $\pm 2\%$ 未満は同程度。

【中学校】



※平成29年度から文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料は、各教育事務所管内の状況について、国、県、及び市町教育委員会、それぞれの平均正答率を整数値として示したものであり、そのため精緻な数値での状況と異なる場合もある。

【小松教育事務所管内】

加賀市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
小松市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率と同程度で、県の平均正答率も同程度。
能美市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度で、県の平均正答率も同程度。
川北町	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。 英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。

【金沢教育事務所管内】

白山市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
野々市市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
金沢市	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
津幡町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。
内灘町	国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。 数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。 英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。
かほく市	国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。 英語は、国の平均正答率をやや上回り、県の平均正答率もやや上回る。

【中能登教育事務所管内】

宝達志水町	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率をやや上回り、県の平均正答率もやや上回る。</p>
志賀町	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。</p> <p>英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。</p>
羽咋市	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p>
中能登町	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率と同程度で、県の平均正答率も同程度。</p>
七尾市	<p>国語は、国の平均正答率を上回るが、県の平均正答率と同程度。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。</p>

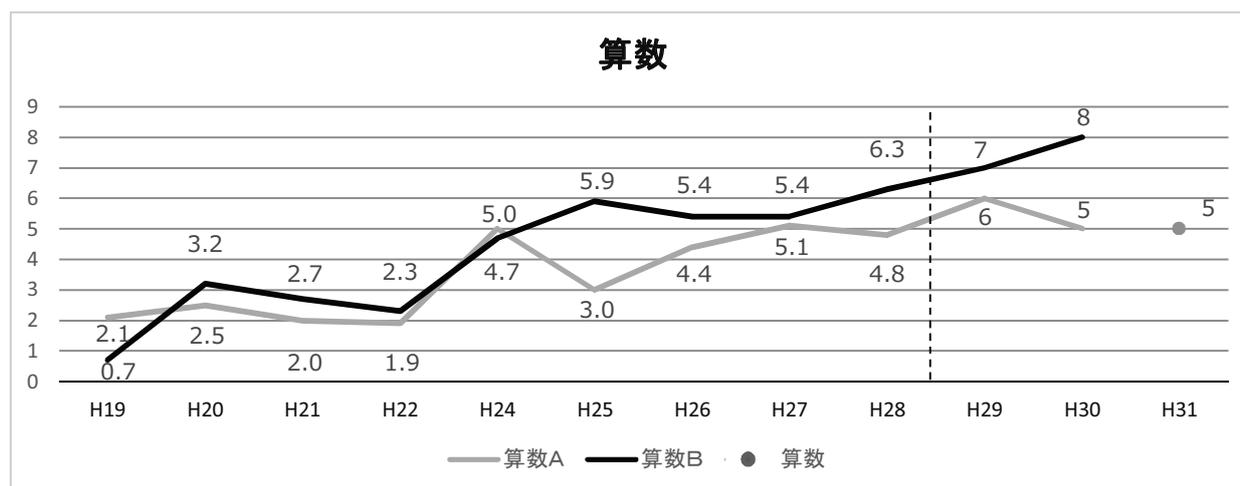
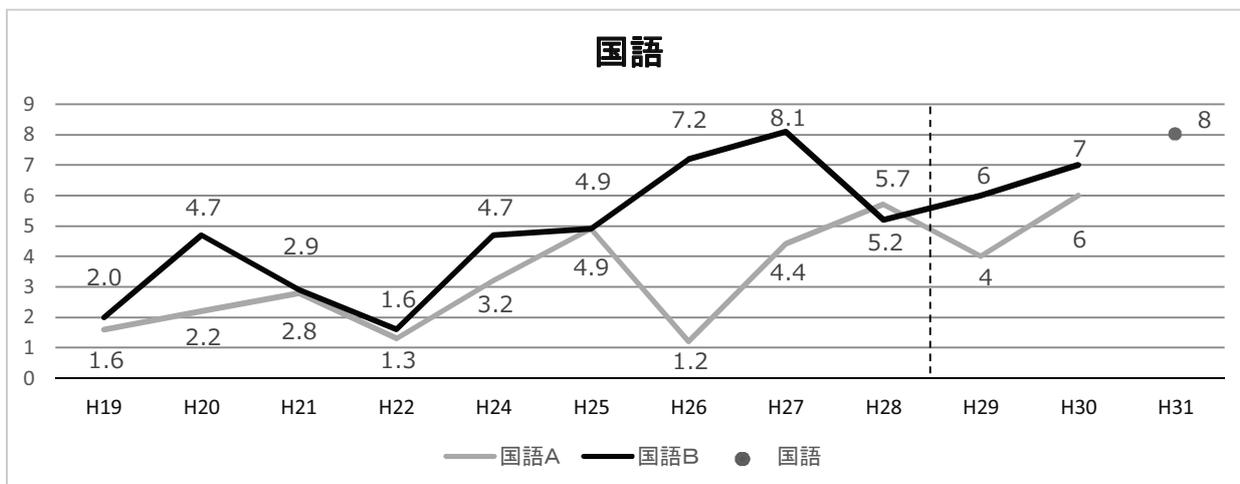
【奥能登教育事務所管内】

能登町	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率と同程度で、県の平均正答率も同程度。</p>
穴水町	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p>
輪島市	<p>国語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率をやや下回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率を下回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率と同程度だが、県の平均正答率をやや下回る。</p>
珠洲市	<p>国語は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率も上回る。</p> <p>数学は、国の平均正答率を上回り、県の平均正答率をやや上回る。</p> <p>英語は、国の平均正答率をやや上回るが、県の平均正答率と同程度。</p>

※ 表記の仕方: 国や県の平均正答率との差が、 $\pm 5\%$ 以上(以下)は上回る(下回る)、 $\pm 2\%$ 以上(以下)～ $\pm 5\%$ 未満はやや上回る(やや下回る)、 $\pm 2\%$ 未満は同程度。

(4) 平均正答率の全国との差の変動(国語, 算数・数学, 英語)

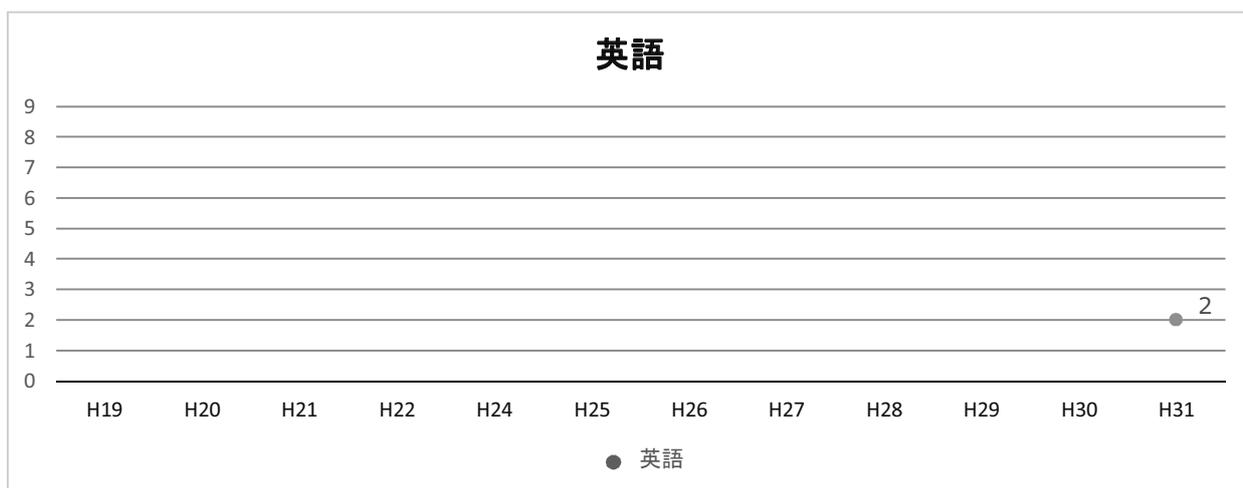
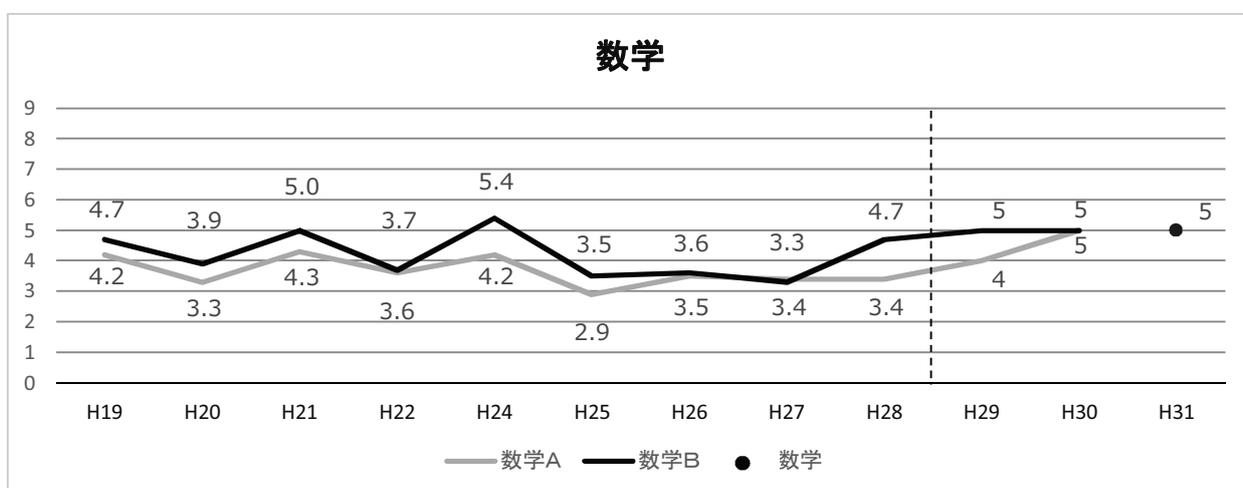
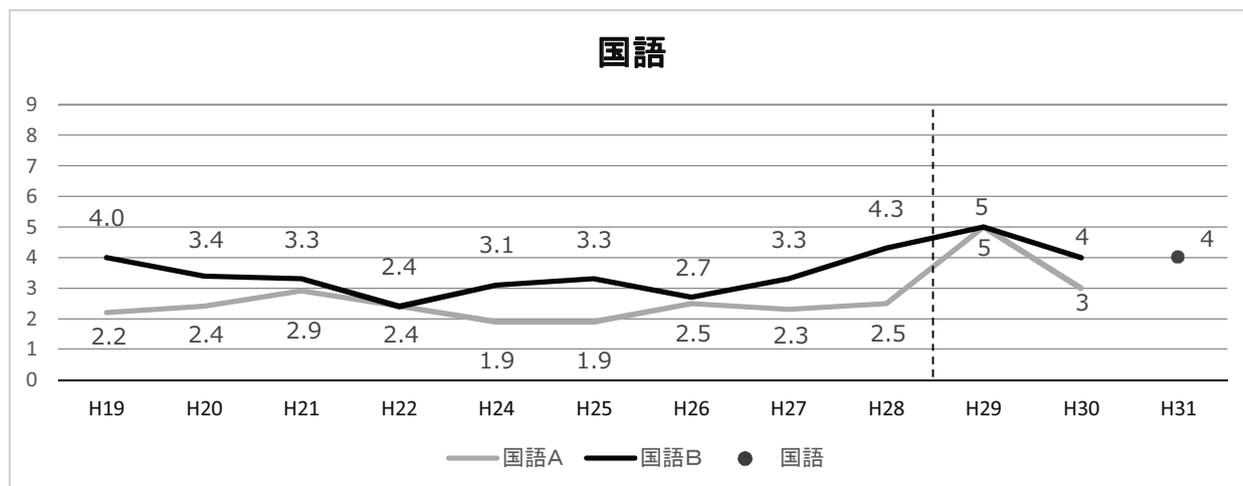
小学校



(横軸:年度 縦軸:%)

- ※ 平成29年度より, 文部科学省は, 県の平均正答率を整数値で公表している。そのため, 国, 県, それぞれの平均正答率を整数値として算出し, その差を示したものである。
- ※ 悉皆調査(H19~H21, H26~), 抽出調査(H22, H24), 文部科学省による調査は中止(H23)
- ※ 平成31年度(令和元年度)より, 従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。

中学校



- (横軸:年度 縦軸:%)
- ※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国、県、それぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。
 - ※ 悉皆調査(H19~H21, H26~), 抽出調査(H22, H24), 文部科学省による調査は中止(H23)
 - ※ 平成31年度(令和元年度)より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
 - ※ 文部科学省は、中学校英語について、4技能のうち「話すこと」を除く、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計し、公表している。

2 質問紙調査の結果

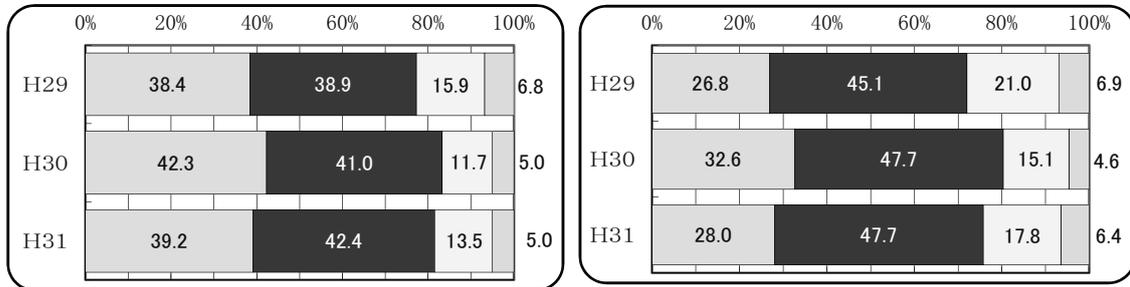
(1) 児童生徒質問紙調査

【小学校】

【中学校】

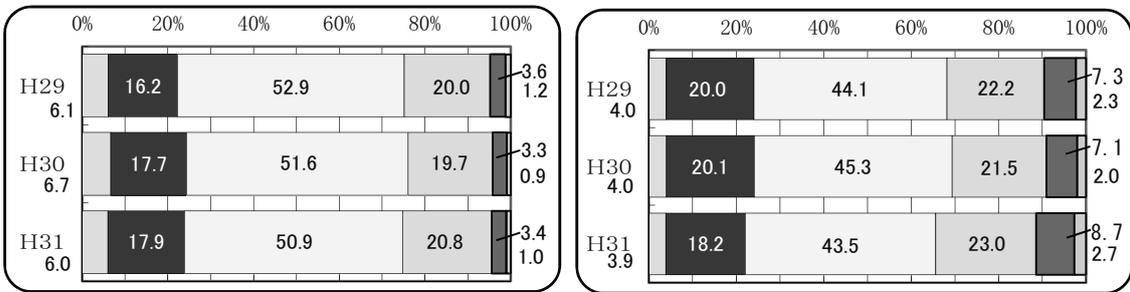
◇ 自分には、よいところがあると思いますか。

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

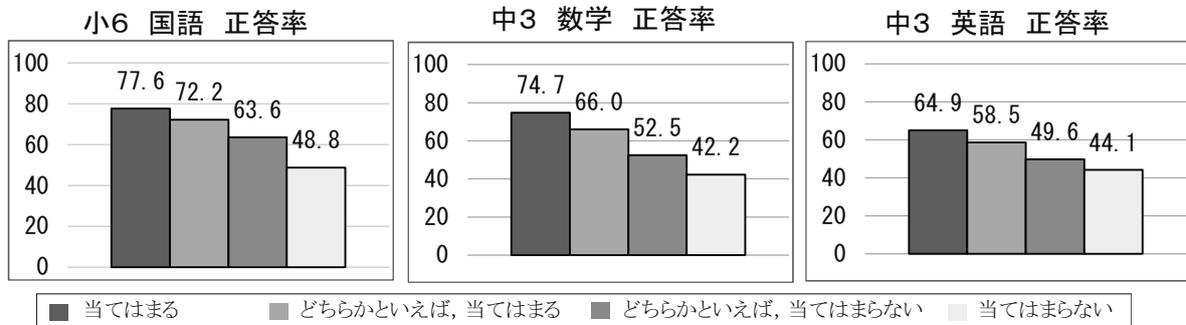


◇ 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む。)

■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない
■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 全くしない

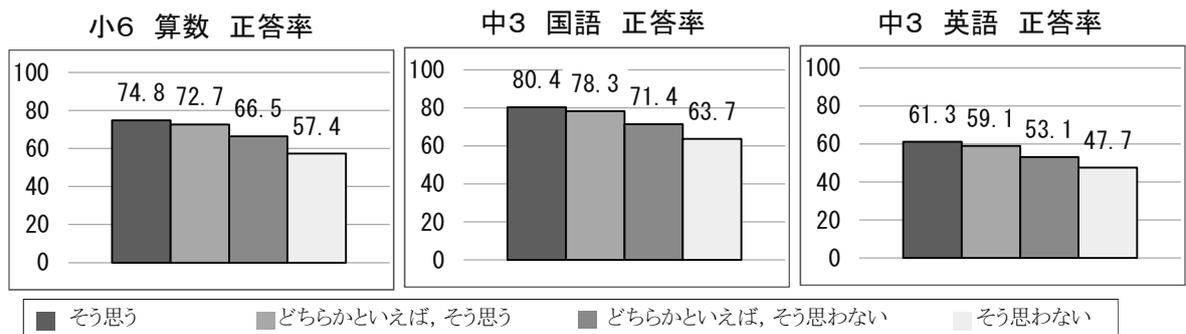


◇ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は国語、中は数学・英語のグラフを抜粋

◇ 学級の友達と[生徒]の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



※児童生徒質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は算数、中は国語・英語のグラフを抜粋

<表記について>

△:全国より2ポイント以上高い

↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼:全国より2ポイント以上低い

※:未実施

① 国語科に関すること

項 目	小学校第6学年			中学校第3学年			
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
国語の勉強は好きだ	H31	↑ 66.5	↑ 64.2	△	61.7	61.7	
	H30	※	※		※	※	
	H29	62.0	60.5		59.9	60.5	
国語の勉強は大切だ	H31	93.7	93.0		91.1	↑ 91.0	
	H30	※	※		※	※	
	H29	92.1	91.2		90.4	88.8	
国語の授業の内容はよく分かる	H31	↑ 88.3	↑ 84.9	△	↑ 80.5	↑ 77.6	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	86.3	82.2	△	77.7	74.9	△
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしている	H31	↑ 82.6	↑ 78.1	△	↑ 79.9	↑ 77.4	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	76.0	68.0	△	68.2	62.7	△
読書は好きだ	H31	79.1	75.0	△	69.4	68.0	
	H30	※	※		※	※	
	H29	79.5	74.3	△	69.7	69.9	
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ	H31	↑ 91.9	↑ 91.2		↑ 88.6	↑ 88.0	
	H30	※	※		※	※	
	H29	89.6	87.9		85.6	83.3	△
国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている	H31	76.6	76.9		71.4	71.6	
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している	H31	↑ 72.5	↑ 68.5	△	↑ 66.3	↑ 64.4	
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいく	H31	75.1	71.4	△	70.1	68.4	
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	
解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した	H31	↑ 86.7	↑ 80.4	△	↑ 82.3	↑ 79.8	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	83.2	77.2	△	77.2	72.3	△

② 算数・数学科に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
算数・数学の勉強は好きだ	H31	73.0	↑ 68.6	△	↑ 59.9	↑ 57.9	△
	H30	71.6	64.0	△	57.0	53.9	△
	H29	73.4	65.9	△	57.2	55.4	
算数・数学の勉強は大切だ	H31	95.0	93.7		86.2	84.2	△
	H30	94.7	92.1	△	↑ 87.3	↑ 83.6	△
	H29	93.9	92.0		84.5	81.1	△
算数・数学の授業の内容はよく分かる	H31	87.4	83.5	△	↑ 76.6	↑ 73.9	△
	H30	88.2	↑ 83.4	△	73.3	71.0	△
	H29	87.2	80.6	△	72.1	69.4	△
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う	H31	↑ 81.4	↑ 79.1	△	※	※	
	H30	79.2	74.3	△	※	※	
	H29	80.6	75.7	△	※	※	
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	H31	↑ 84.5	↑ 82.0	△	※	※	
	H30	81.6	78.4	△	72.5	70.3	△
	H29	84.6	81.1	△	74.7	73.5	
算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	H31	↑ 79.2	↑ 76.5	△	※	※	
	H30	69.2	64.4	△	42.5	38.7	△
	H29	73.7	69.1	△	47.6	45.3	△
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	H31	94.0	↑ 92.5		78.6	↑ 76.2	△
	H30	93.1	90.3	△	78.0	72.9	△
	H29	91.4	89.1	△	77.0	72.4	△
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	H31	↑ 83.8	↑ 82.1		※	※	
	H30	80.1	78.5		70.9	69.2	
	H29	83.6	81.4	△	71.4	71.2	
算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ〔根拠〕を理解するようにしている	H31	↑ 85.9	↑ 84.0		※	※	
	H30	83.3	80.4	△	73.2	70.4	△
	H29	85.2	82.6	△	74.0	72.1	
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている	H31	90.4	87.0	△	※	※	
	H30	90.1	85.8	△	84.0	80.6	△
	H29	89.5	86.0	△	84.6	81.3	△
言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く〔説明する〕問題について、最後まで解答を書こうと努力した	H31	↑ 86.5	↑ 80.7	△	↑ 67.5	↑ 60.8	△
	H30	77.6	70.6	△	63.1	55.5	△
	H29	77.2	69.9	△	64.7	55.4	△

③ 英語科に関すること

項 目		中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較
英語の勉強は好きだ	H31	57.3	56.0	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の勉強は大切だ	H31	86.9	85.4	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の授業はよく分かる	H31	68.8	66.0	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の授業で学習したことは、 将来、社会に出たときに役立つ	H31	87.7	85.4	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で話す、手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にあったと思う	H31	34.5	33.8	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	H31	42.8	41.3	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う	H31	83.0	79.2	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う	H31	84.5	81.2	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う	H31	71.8	62.9	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思う	H31	82.1	77.2	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う	H31	87.9	80.1	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う	H31	84.1	77.4	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思う	H31	84.0	74.6	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	

④ 学習活動に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	H31	87.6	86.1		80.2	81.5	
	H30	85.9	85.3		↑ 82.4	82.2	
	H29	87.7	86.0		78.8	80.4	
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う	H31	81.2	77.7	△	76.9	74.8	△
	H30	79.8	76.7	△	76.5	73.8	△
	H29	※	※		※	※	
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う	H31	67.0	62.5	△	56.1	↑ 55.8	
	H30	66.0	61.0	△	55.6	53.8	
	H29	69.3	64.9	△	59.1	57.9	
学級の友達[生徒]の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う	H31	78.0	74.1	△	77.3	72.8	△
	H30	↑ 80.4	↑ 77.7	△	↑ 81.0	↑ 76.3	△
	H29	72.6	68.2	△	68.3	64.8	△
学級みんなで話し合っ決めてことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある	H31	85.7	84.1		82.9	82.8	
	H30	※	※		※	※	
	H29	90.3	87.8	△	86.0	86.0	

⑤ 学習習慣に関すること

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
家で自分で計画を立てて勉強をしている	H31	↑ 74.7	↑ 71.5	△	53.9	50.4	△
	H30	↑ 72.7	↑ 67.6	△	↑ 57.8	52.1	△
	H29	69.3	64.5	△	55.0	51.5	△
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上、勉強している	H31	74.8	66.1	△	65.6	69.8	▼
	H30	76.0	66.2	△	69.4	70.6	
	H29	75.2	64.4	△	68.1	69.6	
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり30分以上、読書をしている	H31	40.2	39.8		25.5	27.0	
	H30	↑ 40.8	↑ 41.1		28.1	30.9	▼
	H29	35.7	36.5		26.4	29.2	▼

⑥ 生活習慣に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
朝食を毎日食べている	H31	96.3	95.3		95.5	93.1	△
	H30	95.6	94.5		95.1	91.9	△
	H29	95.9	95.4		96.2	93.2	△
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	H31	↑ 84.6	↑ 81.4	△	↑ 80.4	↑ 78.0	△
	H30	78.7	77.0		78.4	74.2	△
	H29	82.2	79.8	△	79.8	75.6	△
毎日、同じくらいの時刻に起きている	H31	↑ 92.7	↑ 91.6		94.3	↑ 92.8	
	H30	89.8	88.8		92.9	90.3	△
	H29	92.4	91.2		94.4	92.4	△
家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしている	H31	78.1	77.4		78.4	76.4	△
	H30	↑ 79.2	↑ 80.5		78.0	76.0	△
	H29	77.2	78.1		76.4	74.3	△
新聞を週に1回以上読んでいる	H31	23.2	19.0	△	15.7	12.7	△
	H30	25.7	19.9	△	16.3	13.9	△
	H29	25.4	21.0	△	16.9	14.9	△
学校に行くのは楽しいと思う	H31	84.6	85.8		82.6	81.9	
	H30	※	※		※	※	
	H29	85.4	86.3		81.8	80.9	

⑦ 自尊意識・規範意識等に関すること

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
自分には、よいところがあると思う	H31	81.6	81.2		75.7	74.1	
	H30	↑ 83.3	↑ 84.0		↑ 80.3	↑ 78.8	
	H29	77.3	77.9		71.9	70.7	
将来の夢や目標を持っている	H31	82.7	83.8		70.2	70.5	
	H30	85.4	85.1		↑ 72.5	72.4	
	H29	85.3	85.9		69.7	70.5	
学校のきまり[規則]を守っている	H31	↑ 93.1	↑ 92.3		96.4	96.2	
	H30	90.5	89.5		95.4	95.1	
	H29	92.8	92.6		95.7	95.2	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	H31	97.5	97.1		95.6	95.1	
	H30	97.5	96.8		↑ 96.0	↑ 95.5	
	H29	96.6	96.1		93.0	92.8	
人の役に立つ人間になりたいと思う	H31	95.7	95.2		94.8	94.3	
	H30	↑ 95.8	↑ 95.2		↑ 96.1	↑ 94.9	
	H29	93.5	92.5		93.4	91.9	
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	H31	95.8	95.2		94.7	93.9	
	H30	※	※		※	※	
	H29	95.7	94.8		96.4	94.7	
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	H31	81.3	79.0	△	72.7	70.3	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	80.1	77.4	△	74.3	71.0	△

⑧ 社会に関すること

項目	小学校第6学年			中学校第3学年			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
今住んでいる地域の行事に参加している	H31	↑ 81.8	↑ 68.0	△	↑ 58.2	↑ 50.6	△
	H30	78.8	62.7	△	↑ 54.0	↑ 45.6	△
	H29	79.3	62.6	△	52.0	42.1	△
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	H31	↑ 56.7	↑ 54.5	△	41.9	39.4	△
	H30	51.8	49.9		↑ 40.9	↑ 38.7	△
	H29	45.5	42.3	△	35.8	33.4	△
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う	H31	67.8	68.6		62.9	62.4	
	H30	※	※		※	※	
	H29	70.7	70.4		64.0	64.3	
日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う	H31	76.6	76.1		61.5	59.3	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	

⑨ ICT教育に関すること

項目	小学校第6学年			中学校第3学年			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
小学校5年生まで〔中学校1, 2年生のとき〕に受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用した	H31	26.0	30.6	▼	25.7	30.6	▼
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	
授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う	H31	89.2	86.5	△	80.8	78.3	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	

⑩ 部活動に関すること

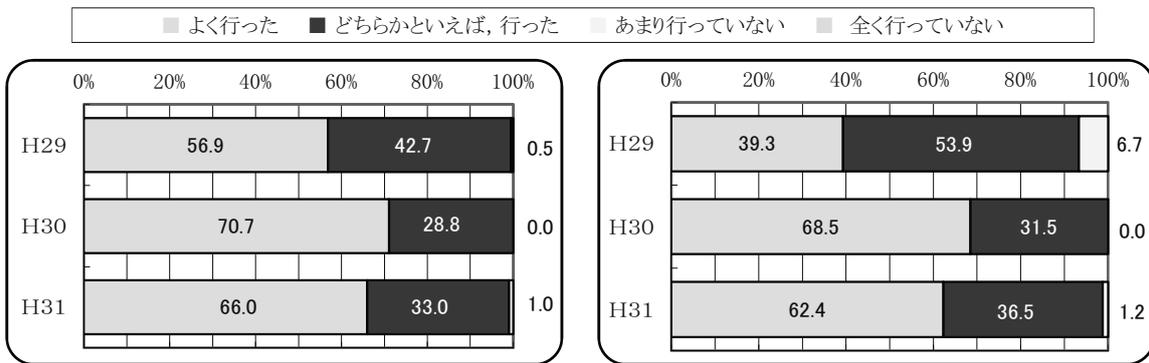
項目	小学校第6学年			中学校第3学年			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
学校の部活動に参加している	H31	※	※		93.8	86.6	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		94.9	86.6	△
普段(月～金曜日), 1日当たり2時間以上部活動に参加している	H31	※	※		70.0	53.0	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		72.9	55.6	△

(2) 学校質問紙調査

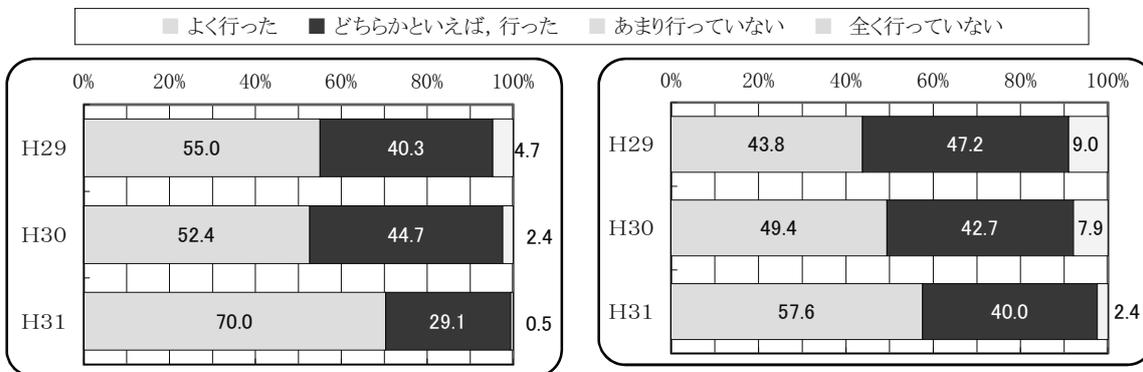
【小学校】

【中学校】

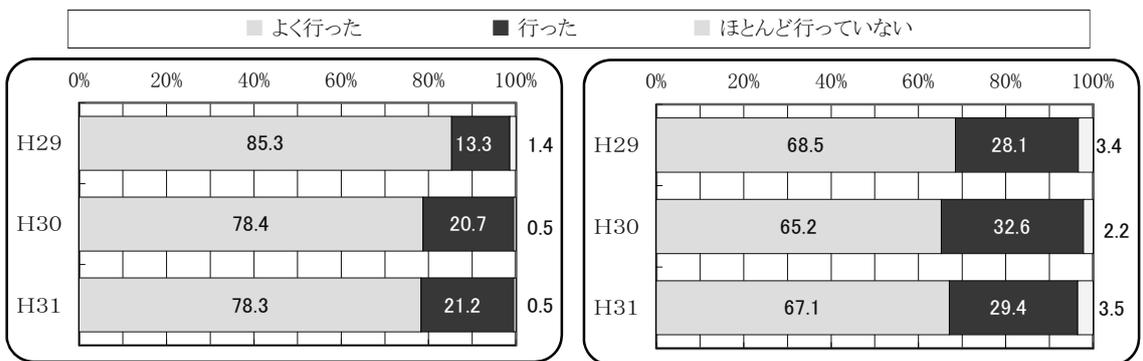
◇ 前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。



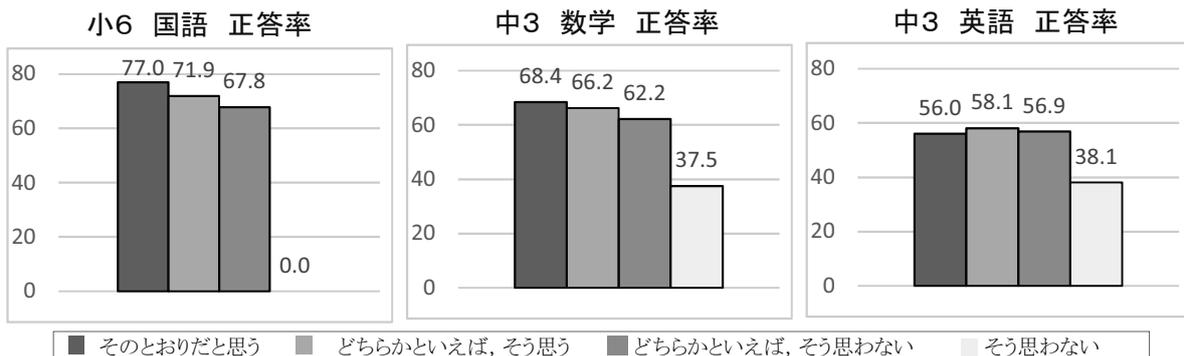
◇ 前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。【教科共通】



◇ 自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



◇ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか。



※学校質問紙調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから、小は国語、中は数学、英語のグラフを抜粋

<表記について>
 △:全国より2ポイント以上高い ↑:前年度(前回)より2ポイント以上高い
 ▼:全国より2ポイント以上低い ※:未実施

① 児童生徒に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	H31	86.7	87.7		94.1	94.1	
	H30	89.9	89.4		95.5	94.6	
	H29	93.9	90.7	△	96.7	94.6	△
児童生徒は、熱意をもって勉強していると思う	H31	89.2	91.1		89.4	89.3	
	H30	※	※		※	※	
	H29	94.8	94.2		97.7	91.7	△
児童生徒は、礼儀正しいと思う	H31	85.2	87.8	▼	91.8	93.5	
	H30	※	※		※	※	
	H29	92.9	89.5	△	95.5	93.7	
児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている	H31	↑ 91.6	85.5	△	81.2	82.6	
	H30	85.1	83.6		84.3	80.8	△
	H29	※	※		※	※	

② 教育課程に関すること

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している	H31	95.1	95.1		87.1	91.3	▼
	H30	↑ 97.1	↑ 94.7	△	↑ 91.0	↑ 90.2	
	H29	80.5	86.7	▼	80.9	78.3	△
教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している	H31	95.6	93.7		87.0	88.1	
	H30	↑ 95.7	↑ 93.2	△	↑ 89.9	↑ 88.7	
	H29	87.2	85.8		76.4	77.5	
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している	H31	97.0	95.4		↑ 98.8	93.4	△
	H30	95.7	↑ 94.9		95.5	↑ 93.1	△
	H29	94.8	91.5	△	95.5	87.8	△
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている	H31	97.1	96.4		↑ 91.8	↑ 86.9	△
	H30	↑ 95.7	↑ 96.0		↑ 87.7	↑ 84.6	△
	H29	91.4	92.6		77.6	74.6	△
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている	H31	83.8	89.6	▼	88.3	86.4	
	H30	87.0	90.6	▼	77.6	85.2	▼
	H29	※	※		※	※	
近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行っている	H31	70.5	65.0	△	76.5	68.0	△
	H30	↑ 70.7	↑ 63.1	△	↑ 79.7	↑ 69.2	△
	H29	49.7	51.3		69.6	58.2	△
部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めている	H31	※	※		89.4	91.5	▼
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	

③ 学習指導・生徒指導に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている	H31	93.6	89.3	△	94.1	88.0	△
	H30	↑ 98.1	93.0	△	↑ 100.0	↑ 92.6	△
	H29	93.8	91.5	△	95.5	89.6	△
児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしている	H31	↑ 83.8	83.2		96.5	98.6	▼
	H30	↑ 81.8	↑ 83.3		↑ 100.0	98.6	
	H29	69.7	75.7	▼	95.5	97.5	▼
児童生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている	H31	↑ 98.5	96.6		91.8	95.2	▼
	H30	94.2	↑ 96.5	▼	↑ 94.4	↑ 95.0	
	H29	93.3	91.6		86.5	87.0	
学習規律(私語をしない、聞き手に向かって話をするなど)の維持を徹底している	H31	97.5	96.9		96.5	98.1	
	H30	99.0	97.7		↑ 100.0	98.3	
	H29	99.1	96.7	△	97.8	98.0	
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けている	H31	88.6	84.7	△	78.8	77.9	
	H30	↑ 91.8	↑ 89.7	△	↑ 88.8	↑ 83.6	△
	H29	87.2	83.3	△	70.8	75.2	▼
大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たり、週1回以上行っている	H31	↑ 77.8	↑ 80.8	▼	↑ 87.1	↑ 80.8	△
	H30	70.2	73.0	▼	84.3	74.8	△
	H29	※	※		※	※	
児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、評価している	H31	99.0	98.8		98.9	98.6	
	H30	99.5	99.0		↑ 100.0	↑ 97.9	△
	H29	99.6	97.4	△	93.2	95.5	▼

④ 調査結果の活用に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用している	H31	99.5	97.3	△	96.5	95.7	
	H30	99.1	97.6		97.8	96.1	
	H29	98.6	96.6	△	96.6	94.4	△
自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行っている	H31	99.0	91.2	△	96.5	87.5	△
	H30	98.1	92.3	△	↑ 95.5	88.5	△
	H29	98.1	90.8	△	93.3	86.8	△
自校の結果を独自の学力調査結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている	H31	99.5	95.3	△	96.4	93.7	△
	H30	98.1	94.4	△	↑ 97.8	91.8	△
	H29	98.6	93.5	△	95.5	90.1	△
全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小・中学校と成果や課題を共有している	H31	↑ 76.8	60.6	△	68.3	60.0	△
	H30	65.0	↑ 63.3		↑ 83.1	↑ 64.0	△
	H29	63.1	53.0	△	73.1	56.8	△

⑤ 国語科の指導方法に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
国語の指導として、補充的な学習の指導を行っている	H31	↑ 94.1	↑ 89.0	△	↑ 88.2	↑ 88.9	
	H30	※	※		※	※	
	H29	84.4	79.1	△	82.0	82.3	
国語の指導として、発展的な学習の指導を行っている	H31	↑ 71.4	↑ 62.4	△	↑ 85.9	↑ 74.6	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	63.5	52.7	△	77.5	67.4	△
国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行っている	H31	95.5	94.1		↑ 96.5	89.0	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	93.8	92.2		93.2	87.5	△
国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行っている	H31	95.6	92.8	△	95.2	95.3	
	H30	※	※		※	※	
	H29	98.6	93.4	△	98.9	95.7	△
国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行っている	H31	92.1	88.2	△	93.0	89.9	△
	H30	※	※		※	※	
	H29	91.5	88.9	△	92.1	90.6	
国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っている	H31	97.6	98.3		100.0	98.3	
	H30	※	※		※	※	
	H29	96.7	98.1		100.0	98.4	

⑥ 算数・数学科の指導方法に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行っている	H31	98.6	↑ 96.5	△	↑ 96.4	↑ 94.3	△
	H30	96.7	94.3	△	93.3	91.4	
	H29	97.2	93.3	△	93.2	91.9	
算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行っている	H31	↑ 83.2	↑ 72.8	△	↑ 90.6	↑ 76.5	△
	H30	74.5	64.5	△	74.2	66.5	△
	H29	81.1	66.9	△	80.9	71.2	△
算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っている	H31	↑ 82.3	↑ 82.4		83.6	↑ 78.1	△
	H30	78.8	↑ 78.0		↑ 84.3	72.1	△
	H29	79.7	75.2	△	77.5	70.9	△
算数・数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っている	H31	↑ 98.5	97.7		↑ 97.6	96.6	
	H30	96.2	96.7		95.5	96.2	
	H29	98.6	97.5		98.8	96.5	△

⑦ 英語の指導方法に関すること

項 目		中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較
英語の指導として、補充的な学習の指導を行っている	H31	95.3	91.5	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、発展的な学習の指導を行っている	H31	82.3	75.4	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行っている	H31	89.4	87.2	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行っている	H31	94.1	90.9	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行っている	H31	64.7	65.1	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する言語活動を行っている	H31	81.2	80.8	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行っている	H31	91.8	87.6	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行っている	H31	64.7	62.4	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の指導として、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行っている	H31	72.9	63.5	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語で行っている	H31	88.2	86.0	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校と行っている	H31	54.1	48.3	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	
英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思う	H31	92.9	93.4	
	H30	※	※	
	H29	※	※	
年間の授業のうち、ALT(外国語指導助手)を活用した授業を週に1回以上行っている	H31	91.7	81.0	△
	H30	※	※	
	H29	※	※	

⑧ 地域の人材・施設の活用に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
保護者や地域の人が学校の美化, 登下校の見守り, 学習・部活動支援, 放課後支援, 学校行事の運営などの活動に参加している	H31	97.0	97.8		↑ 94.1	90.4	△
	H30	95.7	97.7	▼	91.0	90.4	
	H29	※	※		※	※	
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして, 上記の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行っている	H31	↑ 61.1	↑ 79.2	▼	↑ 54.2	↑ 67.5	▼
	H30	52.4	72.8	▼	46.1	60.7	▼
	H29	※	※		※	※	
上記の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は, 学校の教育水準の向上に効果がある	H31	↑ 95.1	95.6		↑ 90.5	↑ 91.5	
	H30	92.3	95.4	▼	84.3	88.6	▼
	H29	※	※	▼	※	※	

⑨ 家庭学習に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
家庭学習の課題の与え方について, 校内の教職員で共通理解を図っている(教科共通)	H31	↑ 99.5	92.2	△	94.2	87.0	△
	H30	96.7	↑ 91.6	△	↑ 95.5	↑ 87.1	△
	H29	95.8	89.6	△	92.2	82.2	△
家庭学習の取組として, 児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えている(教科共通)	H31	↑ 99.1	↑ 95.5	△	↑ 97.6	↑ 92.3	△
	H30	97.1	93.3	△	92.1	90.2	
	H29	95.3	92.2	△	91.0	88.3	△
国語の指導として, 児童生徒が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について, 評価・指導を行っている	H31	98.6	96.7		93.0	93.0	
	H30	※	※		※	※	
	H29	99.1	98.4		93.3	94.9	
英語の指導として, 生徒が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について, 評価・指導を行っている	H31	※	※		92.9	94.7	
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	
国語の指導として, 家庭学習の課題(宿題)を与えている	H31	100.0	99.3		90.6	89.7	
	H30	※	※		※	※	
	H29	99.5	99.6		94.4	93.0	
英語の指導として, 家庭学習の課題(宿題)を与えている	H31	※	※		93.0	94.5	
	H30	※	※		※	※	
	H29	※	※		※	※	

⑩ 教員研修に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている	H31	96.5	94.9		92.9	↑ 91.4	
	H30	95.7	94.0		91.1	88.5	△
	H29	94.8	93.6		93.2	88.4	△
授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている	H31	↑ 100.0	↑ 99.3		↑ 98.8	↑ 96.4	△
	H30	96.6	96.7		91.0	90.9	
	H29	97.7	95.6	△	93.3	90.0	△
近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている	H31	↑ 81.8	70.6	△	88.2	76.2	△
	H30	77.9	↑ 69.5	△	88.7	76.5	△
	H29	81.0	65.6	△	87.7	74.8	△

⑪ 教職員の取組に関すること

項 目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている	H31	98.5	94.4	△	90.6	89.9	
	H30	97.6	96.9		↑ 94.4	93.9	
	H29	98.1	96.4		92.1	92.6	
学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている	H31	93.1	92.1		91.8	84.4	△
	H30	95.2	↑ 93.1	△	↑ 96.6	↑ 86.0	△
	H29	93.3	91.1	△	92.1	82.5	△
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる	H31	99.0	98.3		97.7	96.9	
	H30	99.1	98.5		↑ 98.9	96.9	△
	H29	99.0	98.0		96.7	96.6	
学校として業務改善に取り組んでいる	H31	↑ 100.0	98.5		↑ 100.0	97.8	△
	H30	97.1	97.4		97.8	96.8	
	H29	※	※		※	※	
校長は、校内の授業を、ほぼ毎日見て回っている	H31	90.6	71.8	△	68.2	48.8	△
	H30	↑ 89.9	↑ 70.4	△	66.3	↑ 48.1	△
	H29	86.3	68.0	△	74.2	44.9	△

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査 ー結果の概要ー
令和元年9月発行
石川県教育委員会事務局学校指導課
〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076-225-1827
e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp